

平成19年度

第7回「地域科学技術振興研究会」

開催日：平成20年3月26日(水) 12:50～17:30(18:50)

場所：兵庫県中央労働センター 3階 301号室

協力：兵庫県

議題：地域のニーズ特性と、技術・技能伝承、人材育成、新技術導入教育等に係る、
国の支援制度への戦略展開のあり方

[プログラム]

12:50

開会挨拶 (財)全日本地域研究交流協会 専務理事 角 地 省 吾

挨拶 兵庫県産業労働部 産業政策局長 岡 田 泰 介

研究会の主旨と進め方の説明 (財)全日本地域研究交流協会 評議員 齋 藤 省 吾

13:30 <セッション 地域の中小企業の技術育成への取組みの現状と課題>

丸山敏彦モデレーター(丸山技術コーディネート研究所代表・当協会評議員)

中小企業の支援施策について

(独)中小企業基盤整備機構新事業支援部 主任 船 田 学

各地域の中小企業の技術支援の現状と課題

(各参加者・自治体等から話題提供・討論)

全 体 討 論



15:10 <セッション 地域のシーズ特性と産業構造を踏まえた戦略展開のあり方>

齋藤省吾モデレーター

地域のシーズ特性と産業構造の分析から見た、地域の科学技術振興のあり方

九州大学名誉教授(当協会 評議員) 齋 藤 省 吾

兵庫県の強みや地域特性を活かした科学技術振興方策について

兵庫県産業労働部産業政策局科学振興課長 柳 井 政 則

各地域の特長的な科学技術新振興のあり方

(各参加者・自治体等から話題提供・討論)

研究会のまとめ



17:30 <セッション 交流・討論>



参加者30名（出捐道府県・賛助府県・市等機関の関係者・事務局）

人材育成の地域特性・カリキュラム構成、公設試と大学の連携にかかわる戦略、人材不足対応として公設試OBの活用、広報・情報伝達の重要性、国等の受託研究等について活発な議論が展開された。